

第百十五回 高尾山信徒峰中修行会 十月十三日(土)～十四日(日)

秋冷の高尾山へ一泊し当山独自の滝行をはじめ、月輪観・写仏・法話の聴講等を実践する精神修養の行事として「高尾山信徒峰中修行会」を来たる十月十三日～十四日に開催します。

高尾山に広がる大自然全体を修行道場として、高尾山御本尊・飯縄大権現様に身をまかせ、古来より伝承される修行の方法を実践し、激動の現代社会に生きるご自身の心の波を静めてみませんか？

老若男女を問わず初心者の方も歓迎します。参加ご希望の方は、ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・生年月日・電話番号を明記してお送り下さい。(尚、小学生以下の参加は保護者の同伴が必要となります。)

皆様方のご参加をお待ち申し上げます。*お電話にての申込みはご遠慮下さい。*請書は、締切り後、発送致します。*行程の詳細は、信徒峰中修行会係にお問合せ下さい



宛先 〒一九三二八六八六 八王子市高尾町二七七 高尾山信徒峰中修行会係宛 電話 〇四二六六二二五 FAX 〇四二六六四二九九 申し込み締め切り 十月五日(金) 参加費 大人一万五千元 子供一万元(小学生以下)

申し込み後、キャンセルの方は、早めに電話連絡を入れて下さい。連絡なき場合は、キャンセル料等がかかる発生する場合がございますので、ご了承下さい。

集合場所 高尾山麓不動院 午前九時集合

服装 運動着 運動靴(登山靴可)

持参品 弁当(初日昼食分) 雨具(カッパ、ポンチョ) 洗面用具、タオル、寝間着、リュックサック 筆記用具 *お持ちの方は、念珠、錫杖をご持参下さい。

高尾山山内八十八大師巡拝のご案内

多くの方が参拝できますよう左記のように二つのグループに分け、途中(山上十一丁目茶屋前第十七番札所)で合流し、いっしょに巡拝致します。

A、従来通り、不動院から歩く。 B、ケーブルを利用する。

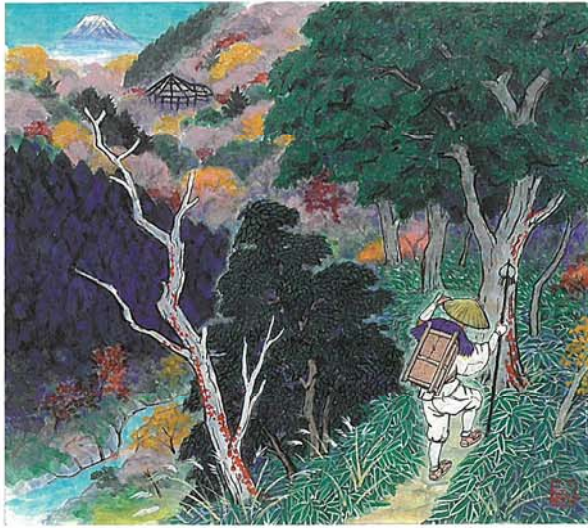
※ケーブルを利用する場合、代金は自己負担になります。 日程 十月九日(火) 山麓不動院↓蛇滝コース↓蛇滝↓仏舍利塔法楽↓本堂(御護摩修行)↓坊入(昼食)↓下山(一ノ路)↓不動院着(法楽)↓解散

参加費 五千元(昼食代、保険料含む) 集合場所 山麓不動院(八時半集合) 申込方法 ハガキに郵便番号、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号を明記の上、左記までお申込み下さい。

締め切り 九月二十八日(金) 一九三二八六八六 八王子市高尾町二七七 高尾山健康登山者一同 電話でのお申込みは承りかねますのでご了承下さい。 *申し込み締切り後、請け書(行程表・持ち物等)をお送り致します。

高尾山物語 5

俊源大徳入山



絵・橋本豊治

鎌倉時代から室町時代にかけて、真言、天台兩宗派は東国への布教を拡張していきまし

京都醍醐寺にて修行した俊源は、永和年間(一二七五～一二七九)に高尾山を訪れ、修行に適した場所であると

俊源は高尾山中を修行道場としており、蛇滝には、獬廌に捕らわれていた白蛇を助けたお札にと、白蛇が蛇滝

まで俊源を案内したという伝説が伝わっております。 当時の高尾山は現在と違い荒廃していたようですが、深山で一心に仏道修行に励み、高尾山を復興して中興の祖と

遊びの顔と 仕事の顔は けじめが大事 一つの世も

厄年を過ぎた

御信徒の皆様へ

六十才の厄年を過ぎたなら 一年一年を 暑さ、寒さを 八十才を過ぎたなら 春夏秋冬を 九十才を過ぎたなら 一日一日を 気を付けられ 日々を大切に 圓滿にお暮し下さい

福壽圓滿の

御護摩を お申し受け致しております。

高尾山報助成金志納者 御芳名(順不同・敬称略) 世田谷区 OYABU・ R.T.K.オノリス

- 大藪 龍子 大藪 貴彦 大藪 克彦 柴田 利男 市野 貴之 矢嶋 佐知子 増山 進 奥田 雅重 彰山 粧麗 桑子 文行 伊勢原市 佐々木 晋介 平 敦隆 相模原市 高橋 久子 新座市 飯畑 正男 練馬区 阿部 フミ子 札幌市 武田 雄二 八王子市 柳田 辰男 入間市 (尚)通信工業 藤沢市 由井 誠之助 国立市 峯岸 成領 京都市 松本 恭俊 高尾山健康登山者一同



『高尾山薬王院の歴史』外山徹 十二頁

相伝う、俊源は勇猛精進。能く禱事を奉ずと。其の浴所は東澗中に在り。称して靈泉となす。

寛延の高尾山縁起より